

今月のスマイルさん  
Everyone to be happy with a smile!



だんさん・めいがさん  
五個荘金堂町  
でお会いしました

2/23

市民のさまざまな活動を紹介  
わくわくこらぼ村

市内のさまざまな団体や事業者などが集い、日頃の活動を紹介する「わくわくこらぼ村」が能登川コミュニティセンターで開催され多くの来場者でにぎわいました。会場には、まちづくり協議会、NPO法人、社会福祉法人など50団体が出席。子どもから大人まで楽しめる体験型ワークショップイベント、物販などを通じて各団体の活動が紹介されました。母親とタンブラーづくりに参加していた永井



「好きな色をいっぱい塗って乾かすのが楽しかった。これは、お父さんへのプレゼント」と完成したタンブラーを自慢げに見せてくれました。

3/3

ちいさなひないちご&ちいさなはたらく乗り物展

ちいさなひないちご&ちいさなはたらく乗り物展がぶらぎ三方よし（五個荘塚本町）で開催されました。市内の19のいちご農園で栽培されたさまざまないちごが並び、あつという間に売り切れていました。また、ショベルカーやパトカー、消防車などはたらく乗り物も集まり、写真を撮ったり乗車したりと子どもたちも大喜び。そのほかにも丸ちえろさんによる大道芸やミニ縁日、フードブースの出展などさまざまな催しが行われました。



おいしいいちごを買い求めるお客さんでいっぱい

3/3

にんげん雛絵巻まつり

レインボー大使や一般公募で選ばれた人が、おひな様やお内裏様などにふんするにんげん雛絵巻まつりが、旧中江勝治郎邸（五個荘金堂町）で開催されました。訪れていた太田重実さん（74歳）は「動くおひな様は珍しい。とてもきれいでした」と目を見張っていました。



ショベルカーって大きいなあ



てんちゃん

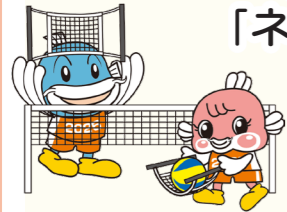
湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025 Vol.7  
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

デモンストレーションスポーツとしてネットでポンポイを実施します

本市発祥のニュースポーツ  
「ネットでポンポイ」って?



東近江市スポーツ推進委員協議会が考案したニュースポーツ。専用のネットを使ってバレーボールを相手のコートに打ち返す競技で、子どもから大人まで世代を超えて楽しめます。

専用ネット「フリングキャッチ」を使います。



ネットでポンポイ大会で啓発を行いました

総合運動公園布引体育館で行われた「第11回東近江市ネットでポンポイ大会」で国スポ・障スポを啓発するとともに国スポ・障スポ推進課から2チームが出場しました。誰でも参加できて、職員も夢中になって楽しみました。



▲パネル展示で啓発を行いました。

優勝おめでとう 1部：BGU  
2部：のたがわスマイル  
3部：コムスポBoys  
ごさいます!

協賛・ボランティア募集中

詳しくは、特設サイトを確認ください。

関わたSHIGA輝く国スポ・障スポ  
東近江市実行委員会  
(国スポ・障スポ推進課内)

TEL 050-5801-5675 FAX 0748-24-5571

メール: kokusupo-syosupo@city.higashiomi.lg.jp



国スポ・障スポ  
特設サイト

もりひとをぶぶく「コラム」  
森里川湖をめぐるストーリー

風の精「イヌワシ」と森の精「クマタカ」

鈴鹿の森から始まり、森里川湖を通じて人と自然がつながっていることを感じていただくコラムです。

鈴鹿の森には、大型の猛禽である風の精「イヌワシ」と森の精「クマタカ」が生息しています。イヌワシは、翼を広げると2メートル近くにもなる日本の山岳地帯に生息する最大の猛禽です。その卓越した飛翔能力と獲物を狩るパワーは、古くから人々の心を捉え、人間にはない超能力を有する天狗伝説のモデルにもなっています。

その奇跡をもたらした要因のひとつは、森林帯における人々の生活にあります。茅刈り場、焼畑、炭焼きなどで創り出された人為的な開放地がイヌワシにとって格好の狩場を提供してきたのです。生物多様性に富む森林に生息するクマタカと開放地を狩場として生息するイヌワシが共に生き続けてきた鈴鹿の森は、紛れもなく世界に誇るべき稀有な存在なのです。

執筆・山崎亨（東近江市参与、アジア猛禽類ネットワーク会長）

風の精「イヌワシ」



森の精「クマタカ」

関 森の文化博物館整備課  
TEL 050-5802-9951  
FAX 0748-24-1457

※文が低く、幹が発達しない樹木